科目ナンバリング	U-LAS06 20032 SJ43						
授業科目名<英訳>	経済原論基礎ゼミナール Introductory Seminar on Principles of Economics			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　大黒　弘慈		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	法・政治・経済(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	月5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

経済学の境界領域に横たわる問題を拾い上げることで、経済学を相対化しながら、経済そのものの本質・原理を探る。

[到達目標]

資本主義の基礎的な仕組みを理解するとともに、通説を疑う姿勢を身に着ける。

[授業計画と内容]

資本主義システムは、経済的合理性のみにもとづく閉鎖体系ではなく、それを取り巻く社会的環境に開かれている。したがって、労働力・土地・貨幣といった境界領域の分析が不可欠である。とりわけ貨幣においては、経済と社会の矛盾が複雑なかたちで現れる。しかし経済学にとってなぜか貨幣は鬼門である。このゼミでは、貨幣を含め経済学の境界に横たわる諸問題を丹念に拾い上げ、経済学の正統を相対化しながら経済学原理への導入を図る。経済思想、社会思想を広く取り上げる前期のILASセミナー：経済思想を承け、後期においてはより理論的な問題を取り上げる。以下のような課題について、それぞれ２～３週授業をする予定である。あるいは年度に応じて２～３の課題を集中的に取り上げることがある。

１．資本の統治と新自由主義的統治
２．現代の貧困と資本の過剰
３．宇野弘蔵の純粋資本主義論と方法の模写
４．廣松渉の物象化論と価値形態論
５．柄谷行人の交換様式論と交換過程論
６．グレーバーの負債論とオルタナティブ社会

（授業回数はフィードバックを含め全15回とする）

[履修要件]

前期「ILASセミナー：経済思想」を履修しておくことが望ましい。

[成績評価の方法・観点]

平常点評価50点（討論への積極的参加25点、個別報告25点）、学期末レポート50点により、総合的に評価する。
レポート及び個別報告については、到達目標の達成度に基づき評価する。
なお学期末レポートを提出しない場合は0点とする。

経済原論基礎ゼミナール(2)へ続く↓↓↓

経済原論基礎ゼミナール(2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）

マルクス『資本論』（国民文庫）ISBN:978-4272802517

宇野弘蔵『経済原論』（岩波書店）ISBN:978-4003415122

大黒弘慈『マルクスと贋金づくりたち：貨幣の価値を変えよ（理論篇）』（岩波書店）ISBN:978-4000253215

その他、授業中に適宜紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

『資本論』を各自読み進めることが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部